

カモシカ通信



今年は、日本列島で、記録的な猛暑が続いております。皆さん、熱中症対策等体調管理には、十分お気を付けください。

今月のカモシカ通信は、先月号でも取り上げました上村小学校の防災学習・ツベタ沢砂防堰堤工事の現場見学会ですが、児童の皆さんから感想文をいただきましたので、内容をご紹介します。また、7月に新しく発注されました工事につきましても、ご紹介します。

上村小学校 現場見学会 児童の皆さんからの感想文！



砂防、防災の学習風景



平成30年度「砂防ダムの見学」をして

上村小緑の少年団

1, わかったこと、思ったこと

1年—初めてだったけど、3つの体験をやれて良かった。土砂崩れがいつあるか、わかんないけども、砂防ダムがあればいいんだってわかった。

2年—土砂を食い止めるのはむずかしいんだと思った。

3年—土砂崩れをせき止めることを考えられていいと思った。

4年—どのようになっていると土砂崩れが起きやすいかや、伊那が土砂崩れしやすいことを初めて知った。他にも、砂防ダムを造る期間や何のために作っているのかも知れて良かった。いろんなダムがすごいあったことがわかった。

5年—地滑りや土石流は、すごいのが突然来るから、家がつぶれたりすることもある、とても危険ということがわかった。伊那谷は「三六災害」(他にも梅雨前線豪雨の災害、昭和40年、57年、58年、平成11年、18年にも大きな災害が)などの土砂災害が多いことがわかった。

砂防工事をして川に生きている生き物は生きられるように、たくさんの工夫があることがわかった。(生き物の通り道や低い階段、砂防林などを造る)

床固め工で、流れを弱くしたり、擁壁で崖崩れや落石などから命や家を持ったりすることがわかった。私が住んでいる家の周辺は、土砂災害に注意しないといけないことがわかった。(地滑りを防ぐために、地下水を抜いたり、杭やアンカで固定すること)

6年—伊那谷は土砂災害が起きやすい土地という意味がわかった。例えば、私が住んでいる場所では1年間降水量が1200～1800mmだが、中央アルプスでは2倍の3000mmも降ること、南アルプスや中央アルプスなどは急な地形に囲まれていて、川の流れが速くなり、山が崩れやすくなっていること、また、大きな断層がいくつもあって、山が崩れやすくなっていることからわかった。土砂災害など危険なことを砂防工事で防いでいることがわかった。例えば、土石流を防ぐ、水の流れを弱くする、地滑りを防ぐ、崖崩れを防ぐなど、いろいろなことをして私たちは生きられることからわかった。

工事の方法は、①測量、設計②掘って③固めて④完成、この4つをして工事をしているのがわかった。

砂防は、ぼくたちの生活を守っていてすごかった。砂防ダムのおかげで、ぼくたちの生活が守れるのはすごい。

砂防の大切さがよくわかった。砂防って言っても小さな石を流すものなど、いろいろあったんだな。砂防が造られる前は、いろいろな災害があったことがわかった。

2, 「砂防」について考えよう

(1) 砂防と自分について

- 放送をよく聞いて、家族に知らせる。(1年)
- 土砂は危険で、自分も気をつけて生きていけたらいい。(2年)
- 土砂災害を防ぐ。(3年)
- 土砂崩れが起きたら、すぐに安全な場所に逃げられるように、避難場所もちゃんと知っておきたい。(4年)
- 土砂が来たら、すぐに逃げる。(4年)
- いつ、災害が起きるかは、わからないから、いざという時のために、どこへ逃げるのかなどをしっかりと考えておきたい。(5年)
- ニュースなどをこまめに見て、雨の状況を確認して、早めに準備できるようにしておきたい。(5年)
- お母さん、お父さんに迷惑をかけないように、基本のことなどは頭に入れておきたい。(5年)
- 川に入る時は、川の流れを見ながら考えたい。(6年)
- 土砂災害を防ぐには人の手で造られたり、機械を使って砂防ダムができることを考えて、砂防ダムを大切にしたい。(6年)
- 自然を大事にしていきたいし、災害が起こった時のために前もって準備していきたい。(6年)
- 三六災害のような災害の時に、自分の身を守るように、土砂災害の前ぶれを知っていきたい。(6年)

(2) 砂防と家族について

- 避難場所に逃げる。(1年)
- どこが避難場所か確かめる。(1年)
- 家族でいて土砂が起きたとしても自分たちが気がつけたほうがいい。(2年)
- もし、土砂崩れがあったら、家の人に伝える。(3年)
- 家族にも過去の土砂災害の死者数や危険な場所、避難場所もしっかり知っておいてもらえるようにしたい。(4年)
- どんなふう避難するのか、お家の人と話して考える。(4年)
- 災害が起きたら、どこへ、どんなふう逃げるとかを家族と相談して、全員が無事に生きられるようにしたい。(5年)
- 家の周りなどで、危険なところを確認しておきたい。(5年)
- 持っていくものを事前に決め、できるものは準備しておきたい。(5年)
- 人に災害が起こらないように、なるべく砂防ダムを使って家族が守られていることを考えたい。(6年)
- 私の家らへんは注意する区域なので、このような災害が起きた時のために避難場所を決めておきたい。(6年)

現場見学会の様子 上空より撮影



バックホウ 操作体験



(3) 砂防と地域について

- ・もし放送が流れてもお熱とかお仕事だったら聞いていないかもしれないから、電話ですぐに知らせる。(1年)
- ・地域にいる時、地震や土砂崩れが起きて、避難所へ行く途中の土砂に気をつけたい。(2年)
- ・地域があぶなかったら、安全な場に避難する。(3年)
- ・上郷もいつ土砂崩れになるかわからないので、しっかり必要なことは調べたりしておきたいな。(4年)
- ・上村は土砂災害が起きると、危険なところがたくさんあるから、確認したい。(5年)
- ・上村にもっと(小さくてもいいので)ダムを何カ所か造ってくれば、もっと安全な地区になりそう。(5年)
- ・ツベタ沢のダムが早く完成すれば、いざ!という時に、災害の被害があまり大きくなりたくないから、いつ起きてもいいように早く完成してほしい。(5年)
- ・「上村は昔から、水害や火事よりも土砂災害が多い」と聞いたから、大雨が降った時には十分注意したい。(5年)
- ・お年寄りの人に声をかけて、助け合って避難したい。(6年)
- ・人々を守るために、砂防工事でいろいろな考えを出して造られている。(6年)
- ・土の下には、鉄の棒を入れて、災害を防いでいる。(6年)
- ・程野は川があり、崖崩れが多いので、どうしても水の災害が大きいと思う。(6年)

(4) 砂防と飯田市・長野県について

- ・飯田市がこわれたら、住む場所がない。砂防ダムが助けてくれる。(3年)
- ・上村小学校も危険区域に入っているの、気をつけたいな。(4年)
- ・飯田市(伊那谷)は、地滑りや土石流などの土砂災害が多いから、危険なところなどをみんなが知っていれば、安全に逃げることができるから、知っていることは大事!(5年)
- ・長野県は山が多いから土砂災害が起こる場所も多い。(もっとダムが造られれば良いのでは?)だから、安全マップなどで確認しておくことがとても大切!(準備も)(5年)
- ・これからも砂防ダムなどを造って、ぼくたちを災害から守ってほしい。(6年)
- ・長く生きていかなきゃいけない思いで造られているのがわかったので、ずっと心の中で考えていたい。(6年)
- ・長野県は、山の地域が多いから大変だと思う。少し考えるのは、雨の降る量が多かったり、急な地形(南アルプス)だったり、長野県は他の県より砂防ダムが多いのでしょうか?(6年)

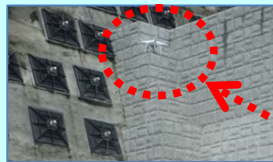
全員での記念撮影 ハイチース!



(5) 砂防と日本・世界について

- ・世界が終わると大変なことになる。(3年)
- ・石川県におじいちゃんとおばあちゃんがいるので、2人にも伝えておきたいと思う。(4年)
- ・日本や世界にもっと砂防ダムが造られれば土砂災害からお家や命を守ることができる。(5年)
- ・ダムは大きいものを何カ所か造るより、小さいものをたくさん造った方が良い。(5年)
- ・安全マップをみんなに配り、みんなが知っているようにすれば、安全に逃げることができそう!(5年)
- ・世界にはもっといっぱいあぶないところもあるから、砂防ダムなどを造ってほしい。(6年)
- ・いろいろな提案で、人々が守られている。(6年)
- ・日本や世界でもっと砂防ダムを造った方が良いと思う。雨が多く、急な地形は長野県、いや日本以外にも多くある。私はもっと砂防ダムを造ることで助けられる命があると思う。(6年)

ドローン 操作体験



高所作業車 乗車体験



新建新聞記事 平成30年 7月 5日

6月の土砂災害防止月間に合わせ、天竜川上流河川事務所に6月28日、飯田市立上村小学校の児童を対象にした砂防・地すべり現場見学会を開いた。同学会には全校児童9人が参加。学校で行われた座学では、同事務所職員が土砂災害の歴史や砂防堰堤の役割などについて紹介。「上村でどんな土砂災害があったか」など児童から質問があがっていた。このほか、飯田市防災ハザードマップを見ながら家の近くがどんな警戒区域かを確認した。

続いて、ヤマウラ(鵜ヶ根市)が施工するツベタ沢砂防堰堤工事の現場では、高さ約15mの堰堤の前で重機やドローンの操作を体験。バックホウに乗った三浦待士君(10)は「操作は難しかったけど楽しかった」と重機に興味深々だった。現場監督は「みんなが安全に作業できるように、ドローンの操作にもっと関心があると思う」と話し、同事務所山田山砂防出雲所の油屋所長は「子どもたちが楽しみながら、砂防事業の理解を示し土砂災害について学んでほしい」と語った。

平成30年度 天竜川水系 尾尾余ヶ沢砂防堰堤工事用道路工事

工事箇所：長野県下伊那郡天龍村平岡地先

工 期：平成30年7月19日～平成31年3月22日

工事内容：河川土工1式、法覆護岸工1式(カゴ枠工 919㎡)、仮設工1式

ご挨拶

この度、天龍村折立地区で砂防堰堤工事用道路を施工させていただくこととなりました。工事期間中は、工事車両の通行等、周辺地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。



池端工業株式会社

<連絡先>

飯田市南信濃和田1012番地

TEL 0260-34-2131

私たちが担当します。



現場代理人 柳澤 洋輔 監理技術者 池端 崇一郎

平成30年度 天竜川水系 小嵐第3砂防堰堤工事用道路工事

工事箇所：長野県飯田市南信濃小嵐地先

工 期：平成30年7月24日～平成31年3月25日

工事内容：道路土工1式、地盤改良工1式、擁壁工1式、仮設工1式

ご挨拶

この度、小嵐第3砂防堰堤工事用道路工事を施工させていただくこととなりました。工事期間中は地域の皆様方に、ご不便とご迷惑をおかけすることと思いますが、安全第一で工事を進めてまいります。ご理解とご協力をお願い致します。



池端工業株式会社

<連絡先>

飯田市南信濃和田1012番地

TEL 0260-34-2131

私たちが担当します。



現場代理人 小松 一隆 監理技術者 小林 真弥